

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表(令和6年2月)

事業所名(クルーズ長府)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・基準以上のスペース確保ができています。 ・パーティションなどを活用するなど、個々に応じた環境設定を行うようにしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・配置数は適切であるが、職員数に余裕があれば人員配置しやすくなる。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・完全にバリアフリーではなく、数か所段差もある為、状況に応じて職員が支援を行う等、安全面に配慮している。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・支援開始前後に職員ミーティングを実施している。 ・全職員(勤務時間や勤務日数が少ない職員含)が周知できるように記録をし情報共有を図っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者からの意見を受け止めて、職員間で改善策を話し合うことで、業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・自己評価結果はホームページで公表している。今後も、引き続きホームページで公表していることを周知させていきたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・事業所内研修を毎月実施している。 ・他事業所と事例検討等の合同研修を実施している。 ・専門的知識の向上や、色々な観点を養う為に、オンライン等の研修等にも参加する機会を提供している。 ・業務で意識する項目等を設けることで、職員間で自分の意見や考え方などがしやすい環境作りを実施している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・子どもや保護者との日々の会話も、アセスメントの一つだと感じ大切にしている。 ・個別面談や担当者会議等の内容についても、職員間で情報共有を図り、計画に反映させている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・行動機能分析(FBA)等の取り組みを行うことで、個々に合わせた支援に繋げている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・子どもの状況に応じて職員間で話し合いを行い、個々に合わせた支援提供を実施している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・子どもの状況を観察し、興味関心等から環境を整えている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・平日、休日、長期休暇に応じて、事前に計画を立て、活動内容(自立課題、外出)を設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・子どもの気持ちを尊重し、個別活動や集団活動において、社会性やコミュニケーション能力の向上が図れるように、計画の作成をしている。
15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・業務時間を上手く使えるように、その日のタイムスケジュールを可視化している。	
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・休みの職員にも周知できるように、引継ぎノート等を活用している。	

17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
----	--	---	--	--	--

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・6か月ごとに職員間でモニタリング会議を行い、計画の見直し等に反映している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			・ガイドラインの基本活動(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供)に沿って支援を提供している。 ・活動内容について偏りがないように配慮している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			・送迎の際に、学校側とコミュニケーションを図り、情報共有を行えるように心掛けている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	・現時点では、医療ケアが必要な子どもがいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・見学に行ったり、行事を参観したり、電話で様子を聞く等対応している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・児童発達管理責任者が卒後の移行会議に参加し、各関係機関と情報共有を図っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・各関係機関と情報共有を図って行けるように、なるべく出向いて話が出来るようにするなどコミュニケーションを図っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			・地域の児童館や公園などに外出し、地域の児童と関わる機会を設けている。また、地域の児童に事業所に遊びにきてもらう機会なども設定することで、障がいのない子どもと一緒に活動する機会も設けている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・管理者/児童発達管理責任者が通所分科会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・日頃から、専門的な観点から保護者の方へ伝えることで、共通認識が持てるようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・保護者の方からの相談について専門的な観点から助言等を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に説明を行っています。また、変更した際は、その都度書面でお知らせしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・保護者の方からの相談について専門的な観点から助言等を行っている。また、保護者の方が相談しやすい関係づくりを意識し、日頃からコミュニケーションを取ることを心掛けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・保護者同士の交流と保護者支援を目的に、事業所見学などをしたり、「子育てサポート講座」開催した事で連携が深められた ・コロナも5類になり、保護者からの反応も良かったので回数を重ねたい

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に苦情を受ける体制のある事をお知らせし、苦情があった場合には迅速に対応できる体制をつくっている。 ・保護者の方からの話は真摯に受け止めて迅速な対応に努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・HPにて公表している。 ・Instagramで頻度の高い発信を始めた。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションツール等を活用し、意志の伝達が出来るように支援している。 ・連絡帳等を活用し、保護者と情報共有等を図っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・地域へ出向く事は多かったが、今年度は事業所へ来て頂く機会を多く持つ取組をして地域の方などと交流を持つことができた
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・職員への周知はしてあるが、保護者への周知方法が契約時・面談時では徹底されていない為、今後の発信の方法を検討している
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・計画を策定しマニュアルに添って年2回(8月と2月)に訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に虐待研修を実施している。 ・支援において一人で抱え込まないようにチームで支援ができるように対応している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に身体拘束に係る研修を実施している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が医師の指示書を基に情報提供し、確認の上で対応している。 ・食物の提供に当たっては、事前に現物を保護者に確認をとっている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> ・些細なことでもあげるようにし、共通認識と再発防止に努めている。